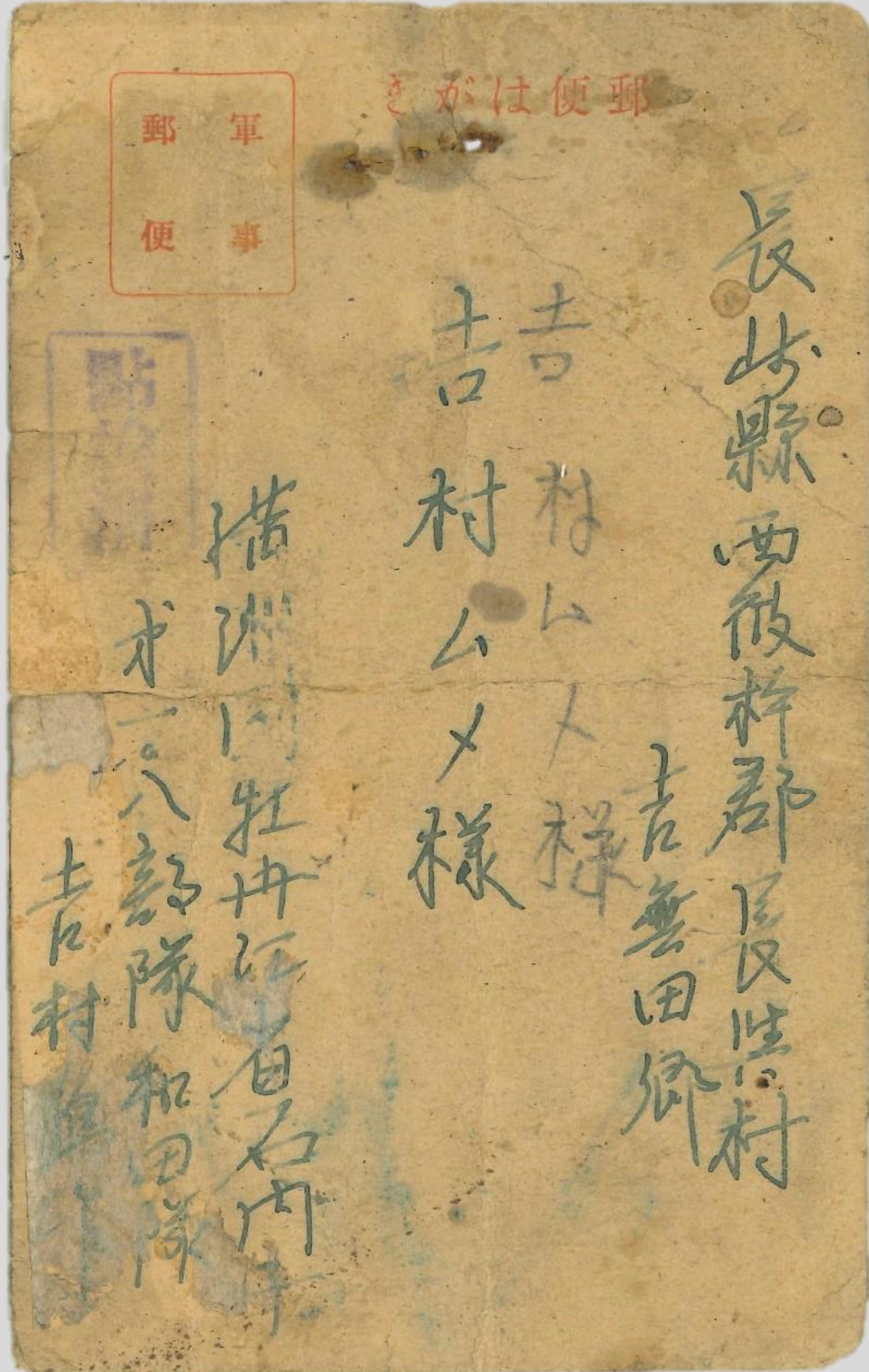


被爆八十年ギャラリー

吉村鶴作氏から妻ムメに宛てた軍事郵便（表面・宛名）

満州国牡丹江省石門子から



長崎県西彼杵郡長与村吉無田郷

吉村ムメ様（※鉛筆書き）

吉村ムメ様

満州国牡丹紅省石門子

第一〇八部隊和田隊

（印：点検済）吉村鶴作

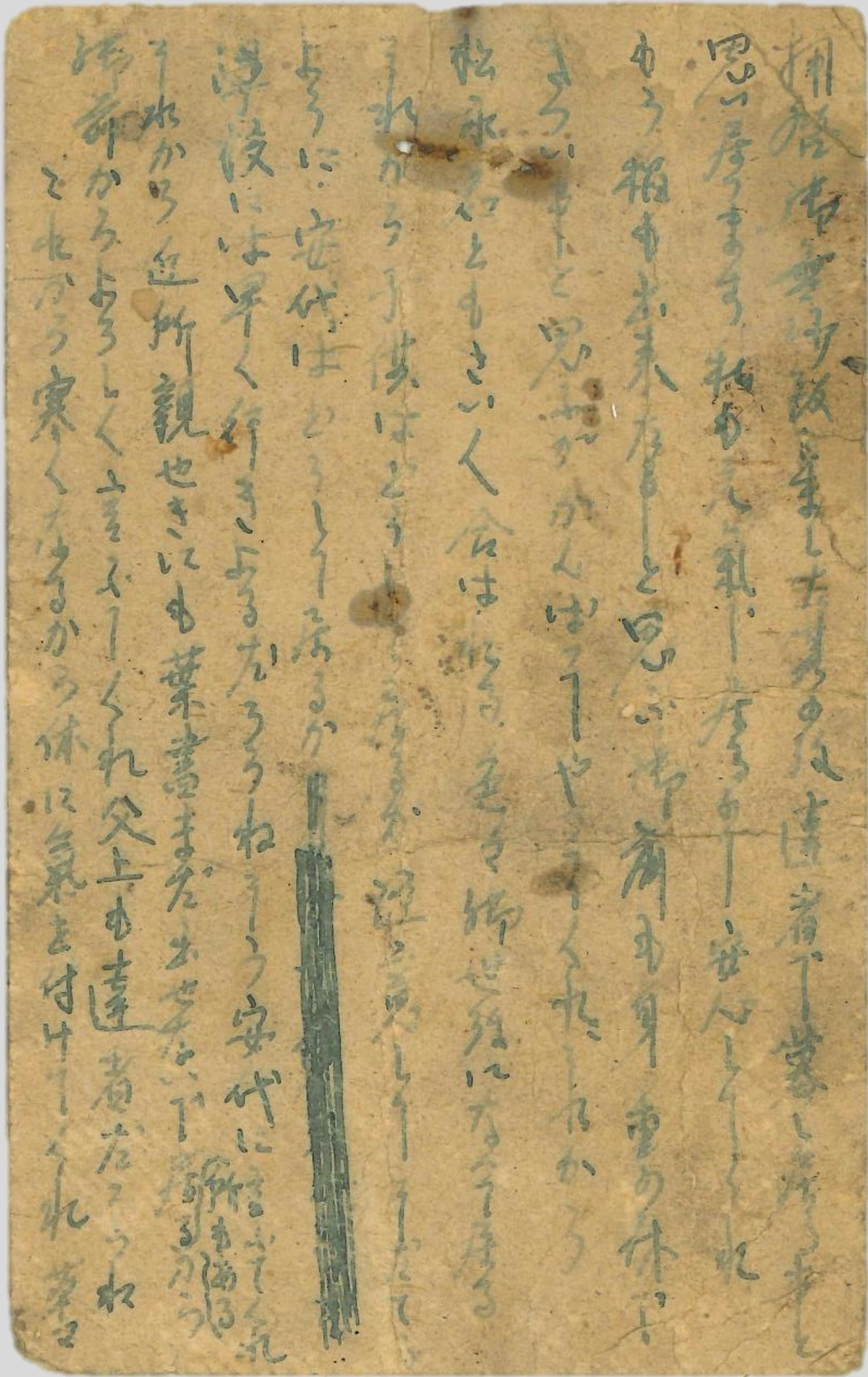
※宛名の横の鉛筆書きは、夫の筆致を偲んだ妻の書き込みと思われる。



被爆八十年ギャラリー

吉村鶴作氏から妻ムメに宛てた軍事郵便（裏面・宛名）

満州国牡丹江省石門子から



拝啓 御無沙致しました。  
其の後達者で暮し居る事と思ひ居ります。  
私も元気で居るので安心してくれ。  
もう稲も出来た事と思ふ。  
御前も身重の体できつい事と思ふが  
がんばってやってくれ。  
それから松永君ともさいん〔さいきんカ〕  
合はれる。色々御世話になって居る。  
それから子供はどうして居るか。  
注意してそだてるように。

安代はどうして居るか。〔※塗り潰し〕  
学校には早く行きよるだろうね。  
そう安代に言ふてくれ。  
それから近所親せきにも  
葉書まだ出せないで居る所もあるから  
御前からよろしく言ふてくれ。  
父上も達者だろうね。  
これから寒くなるから  
体に気を付けてくれ。 草々  
（※検閲を見越して自ら塗り潰したか。）